



金井中だより

〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙 40 番地
Tel 63-4107 <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

〈本号の内容〉

- 1面 巻頭言
- 2面 金井中生徒の成長
- 3面 全校道德の取組
- 4面 写真トピック

「子育て」を目指した「子育て」

校長 香遠 正浩

3学期となり、3年生は卒業までのカウントダウンが始まりました。

今月は金井中学校区学校運営協議会（1/16）やオープンスクール（1/18）があり、多くの方に授業を参観していただきました。どの学級・学年も落ち着いて真剣に学習している様子をご覧いただいたことと思います。年に数回しかない参観日ですので、遠慮することなくご来校ください。

生徒は授業だけでなく、家庭学習も頑張っています。下表は今月13日から19日までの1週間、市内全中学校が一斉に実施した調査結果です。受験を控えた3年生の学習時間が突出していますが、3年生だけでなく、ほとんどの学級が学年の目標時間を上回りました。

佐渡市全体と比較しても、どの学年も佐渡市の平均時間を大きく上回っています。当校の生徒は家庭学習を頑張っています。家庭でも褒めて励ましてください。

	1年生	2年生	3年生
各学年の目標時間	70分	80分	90分
金井中生徒の家庭学習時間の平均	73分	74分	232分
佐渡市全中学校の家庭学習時間の平均	53分	54分	124分

学校と家庭の連携は家庭学習だけでなく、子育て全般で大切です。

オープンスクール当日の放課後には、金井地区青少年健全育成協議会の家庭教育学級を開催しました。今年は、毎年生徒を対象に行っている思春期教室の専属講師である瀧澤ミチ子様をお迎えし、「いのちはキセキ～思春期の子育て・子育て～」と題した講演会を実施しました。当校だけでなく、金井小学校の保護者、金井地区青少年健全育成協議会委員の皆様からもご参加いただきました。

いくつもの団体の代表をされている講師ご自身の取組をもとに、障害児、いじめ・不登校、性の3つの落とし穴（人工妊娠中絶、性感染症、デートDV）、LGBT等の事例紹介を通して、命の素晴らしさや人権尊重の大切さを教えてくださいました。

大勢の生徒をあずかる校長として、改めて早期発見、即時対応、保護者との連携・協力の大切さを感じました。また、「子育て」はどうあればよいかを考えるだけでなく、子ども自身が自らの意志・意欲で立ち向かう「子育て」を目指すことが大切であることを再認識することができました。

金井中生徒の成長

子どもの特性を生かす＝個人を生かす

通級指導教室担当 仲道信子

通級指導教室には、日常の学校生活の中で何らかの生活辛さ・困難を抱えていて、少しでもその状態を良くしたいという前向きな気持ちをもった子どもたちが通ってきています。しかし、子どもたちは生活への辛さ・困難も抱えています。それと同時に素晴らしい能力や才能ももっています。その力を理解する人がいれば、子どもたちは一生懸命に努力し、前進していきます。

できないことの克服ばかりに時間を費やすのは、もったいないです。子どものできていること、好きなこと、興味をもったこと、やってみたいこと等を見極め、レベルアップや挑戦してみるよう後押しすることが有効な場合が多いのです。子どもの特性やできることを生かす、子どものできることから広げていく、そのことが子どもに自信をもたせ、自己肯定感（自尊感情）を高めます。そして、物事に取り組む意欲を育てることになります。その時こそ、目の前の壁にチャレンジできるようになると、子どもたちの様子から強く感じています。

「将来や自立に結びつく特性や能力・才能を理解し、大切に磨いて育てていく。」それが子どもたちに関わる大人の大切な役割だと思っています。

3年生の成長

特別支援教育主任 霍間 寿子

人は不思議なことに、環境や置かれた立場によって、その場にふさわしい人になっていきます。3年生は最高学年になり、部活動・委員会活動をはじめ、体育祭・ふれ愛発表会等で、大活躍しました。一生懸命取り組み、1・2年生を上手くリードしていく姿は頼もしかったです。

3年生の良いところの1つは『本気になって取り組むこと』ができることです。各行事だけでなく、授業の中でもそれが言えます。ある時、英単語のしりとりゲームを3回戦行ったことがあります。全員がチームで協力して参加し、もの凄いスピードで英単語を書いていました。本気を通り越して殺気立っている人もいました。集中して取り組めることは、素晴らしいことです。

様々な場面でのリーダーとしての活躍、その成長ぶりは素晴らしかったです。どんな場面でも一生懸命取り組む姿と、体育祭やふれあい発表会などの行事で得た感動は、忘れられません。

3年間、いろいろな事がありました。たくさんの壁もあったと思います。困難だったこともすべて自分の成長につながっています。3Bの学級目標“Climbing our wall”のように、これからもいろいろな壁を乗り越えてほしいと思います。そして、何十年か後に会ったときに3Aの学級目標“My Home”のように、ホッとできる関係でいてほしいと思います。

全校道徳の取組

道徳主任 中澤 健太

1月18日の授業参観は、全校道徳でした。多くの保護者の皆様に参観していただくと共に、一緒に考えてもらい、ありがとうございました。

さて、金井中学校では、「日常生活で適切な道徳的判断をし、実践する力を身に付けさせる」、「人間の生き方についての自覚を深めさせる」の二つを道徳教育の重点目標にして、実践を重ねています。その取り組みの一つとして、全校体制で、1学期は「いじめ撲滅」をテーマにしおり作ったり、2学期は「人権問題」をテーマにした道徳の授業や生徒会と連携して「いじめ撲滅集会」を行ったりしてきました。



今回の道徳の授業は各学級の実態に合わせた内容を、学年部で工夫しました。次のような内容でした。

1年生：「RN さんからの手紙」

2年生：「嫌な思いをする子が出ないグループ決めてあると思う？」

3年生：「いのちの選択」

生徒のこれからの学校生活や人生の中で、悩んだり、苦しい思いをしたりするとき、何かの手助けになればいいと思って取り組みました。

今年度から、道徳の授業は教科化され、通知表でも学習の様子や学びをお知らせすることになりました。ご家庭でも、道徳の授業のことや、人間としての生き方について話題にしていただけたらと思います。



全校書き初め大会 力作続々！



1月7日、始業式の後、校内書き初め大会が行われました。今年度は体育館で全校一斉に行いました。本間義夫様、鈴木正徳様にご指導いただき、生徒は集中して筆を運びました。後日の審査で、以下の人が校長賞、金賞に選ばれました。

【校長賞】	3年
【金賞】	1年
	2年
	3年



家庭教育学級 「いのちはキセキ～思春期の子育て・子育て～」



1月18日。家庭教育学級に、瀧澤ミチ子様をお迎えし、上記のテーマでご講演いただきました。自らの体験をもとに、子どもたちの人権や人間愛など、熱い思いを語っていただきました。

薬物乱用防止教育



1月17日。金子薬剤師様から、3年生が薬物に関するお話しをお聞きしました。薬物の問題が様々なところで話題となっている現在、生徒は、薬物には手を出さない、周りに勧められたら断る勇気をもつ、などの思いを強くしました。